

業況概要

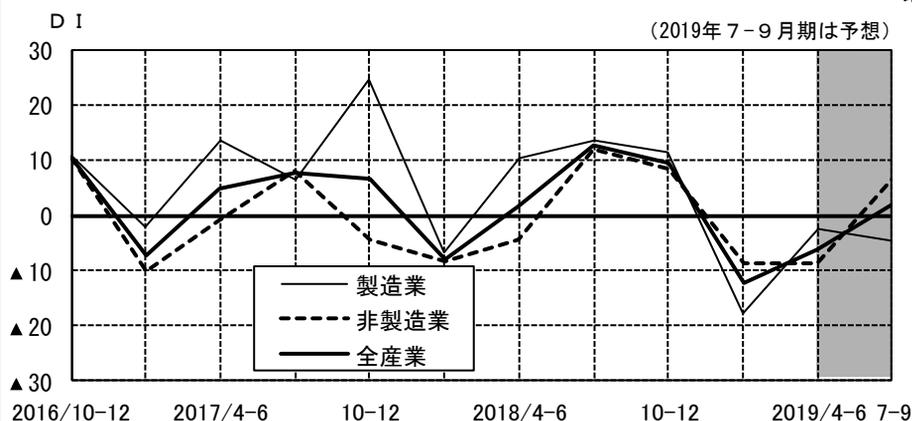
～製造業は大きく改善。非製造業は横ばい～

静岡県東部地域における2019年4-6月期の業況判断D I（全産業：前期比）は、大幅に低下した前期からやや持ち直した（前期▲12.4→今期▲6.3：以下同様）。業種別にみると、製造業では「下降」超ながらも大きく改善した（▲17.8→▲2.3）。金属製品（0.0→0.0）が横ばいだった以外は、全ての業種で改善し、特に食料品（▲37.5→14.3）の上昇幅が大きい。非製造業では、卸：小売・サービス（▲16.5→▲10.8）でやや改善したものの、建設（10.3→▲2.9）が低下し、全体では▲8.8→▲8.8で横ばいとなった。

2019年7-9月期の予想D I（今期比）は、製造業（▲4.6）はやや低下の一方、非製造業（6.6）は「上昇」超に転じる見通しとなっている（全産業でも2.2と「上昇」超に転じる見通し）。

《業況判断D I 推移》

業況判断D I（全産業）推移



年	期	D I
2016	10-12	10.6
	1-3	▲7.1
2017	4-6	4.9
	7-9	7.7
	10-12	6.6
2018	1-3	▲7.8
	4-6	1.7
	7-9	12.6
	10-12	9.6
2019	1-3	▲12.4
	4-6	▲6.3
	7-9	2.2

D I：ディフュージョンインデックス (Diffusion Index) の略。

「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標。

《業種別天気図》

業況上昇 ← → 業況下降

	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス	旅館・その他宿泊所	建設
2019年 1-3月期	☁️☔️	☁️☔️	☁️	☁️☔️	☁️	☁️☔️	☁️	☀️☁️
2019年 4-6月期	☁️	☀️	☀️☁️	☁️☔️	☁️	☁️☔️	☁️☔️	☁️
2019年 7-9月期	☁️	☁️	☀️☁️	☁️	☁️	☁️	☀️☁️	☁️

※2019年1-3月期、2019年4-6月期は前期比。2019年7-9月期は今期比予想

《調査の概要》

- 調査目的**
静岡県東部地域（富士川以東）の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業**
静岡県東部地域に立地する企業 454社
回答企業数 224社（回答率 49.3%）
※業種別企業数は4ページ参照
- 調査方法**
当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間**
実績：2019年4-6月期
見通し：2019年7-9月期
- 調査時点**
2019年6月

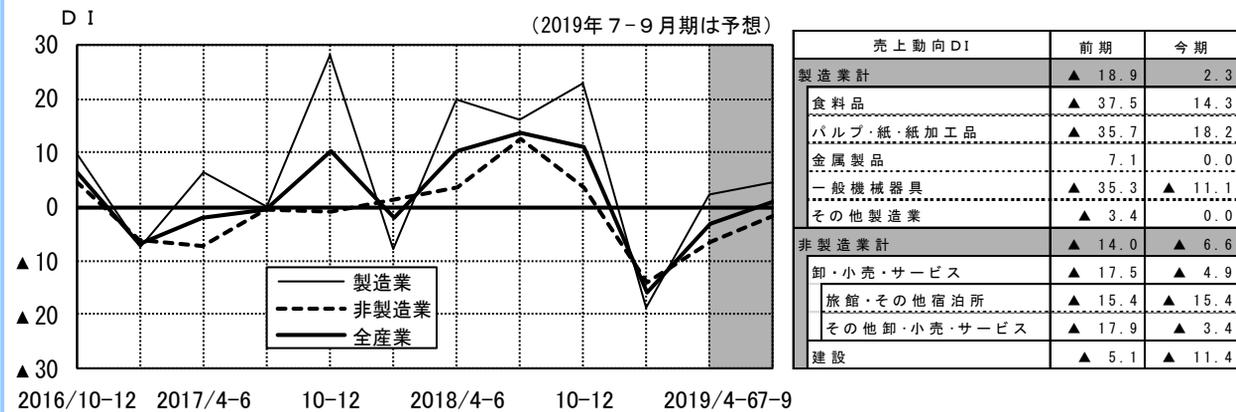
売上動向

製造業、非製造業ともに改善。製造業は「増加」超に転じる

2019年4-6月期の売上動向D I（全産業：前期比）は、「減少」超ながらも大きく持ち直した（▲15.9→▲3.1）。業種別にみると、製造業全体では「増加」超に転じた（▲18.9→2.3）。金属製品（7.1→0.0）以外は改善し、特に、パルプ・紙・紙加工品（▲35.7→18.2）、食料品（▲37.5→14.3）の改善幅が大きい。ただし、一般機械器具（▲35.3→▲11.1）では、改善したものの「減少」超のままである。非製造業全体も持ち直したが、「減少」超の水準にとどまっている（▲14.0→▲6.6）。ただし、建設（▲5.1→▲11.4）では、「減少」超が拡大している。

2019年7-9月期の予想D I（今期比）は、製造業（4.6）、非製造業（▲1.5）ともに引き続き改善する見通しとなっている（全産業では0.9）。

《売上動向D I 推移》



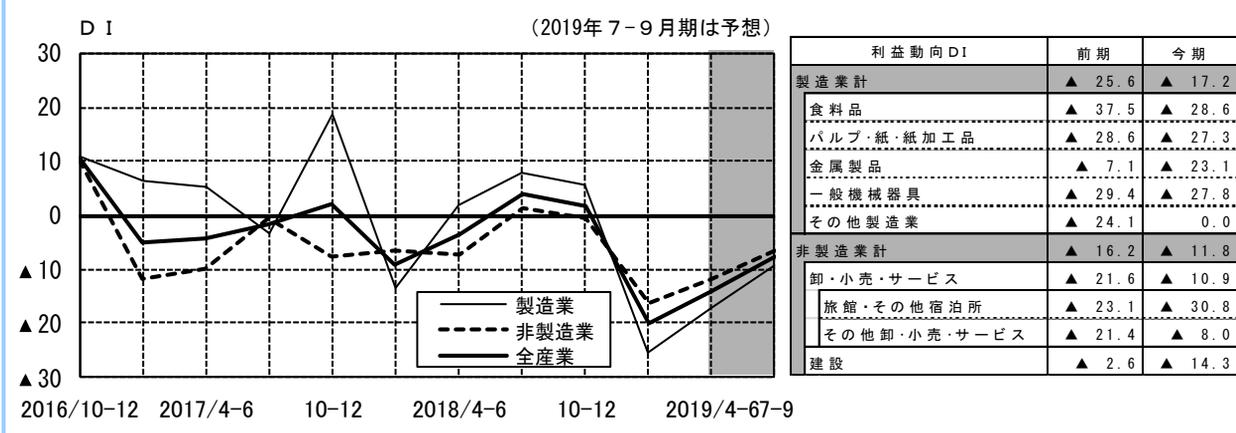
利益動向

製造業、非製造業ともに改善。来期も引き続き改善の見通し

2019年4-6月期の利益動向D I（全産業：前期比）は大幅に低下し、「減少」超ながらも改善した（▲19.9→▲13.9）。業種別にみると、製造業全体では▲25.6→▲17.2と改善した。その他製造業（▲24.1→0.0）で大きく改善し、中立水準となったが、それ以外の業種は「減少」超の水準にとどまっている。非製造業も全体では、▲16.2→▲11.8と改善したものの、建設（▲2.6→▲14.3）では、「減少」超が拡大している。

2019年7-9月期の予想D I（今期比）は、製造業（▲9.2）、非製造業（▲6.6）ともに引き続き改善する見通しとなっている（全産業では▲7.6）。

《利益動向D I 推移》



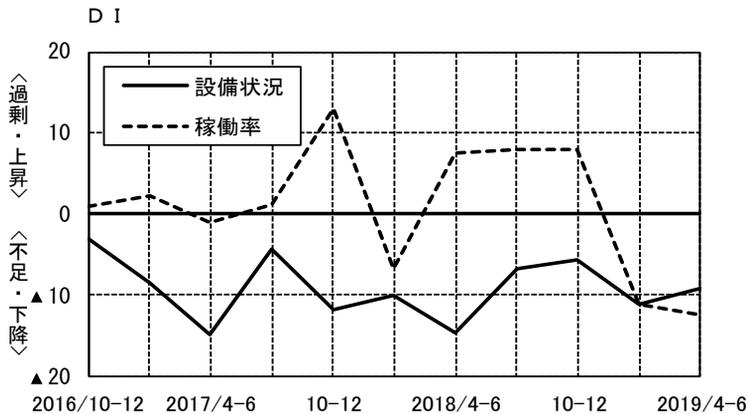
設備状況・稼働率
(製造業)

設備状況は「不足」感がやや弱まる。稼働率は「下降」超がやや拡大

2019年4-6月期の設備状況DI（製造業）は、「不足」感がやや弱まる結果となった（▲11.1→▲9.2）。業種別にみると、すべての業種で「不足」超となっているが、金属製品、一般機械器具、その他製造業では「不足」超が縮小しているのに対して、食料品、パルプ・紙・紙加工品では「不足」超が拡大し、傾向が分かっている。

稼働率DI（製造業：前期比）は、大きく低下して「下降」超に転じた前期に続き、小幅ながら低下した（▲11.1→▲12.6）。業種別にみると、金属製品（0.0→▲7.7）も中立水準から「下降」超に転じ、すべての業種で「下降」超の水準となっている。「下降」超幅の変動については、食料品（▲31.3→▲7.1）だけは大幅に縮小したが、それ以外の業種ではすべて拡大している

《設備状況・稼働率DI推移》



設備状況DI	前期	今期
製造業計	▲ 11.1	▲ 9.2
食料品	▲ 6.3	▲ 14.3
パルプ・紙・紙加工品	▲ 7.1	▲ 18.2
金属製品	▲ 21.4	▲ 7.7
一般機械器具	▲ 17.6	▲ 11.1
その他製造業	▲ 6.9	▲ 3.2

稼働率DI	前期	今期
製造業計	▲ 11.1	▲ 12.6
食料品	▲ 31.3	▲ 7.1
パルプ・紙・紙加工品	▲ 14.3	▲ 18.2
金属製品	0.0	▲ 7.7
一般機械器具	▲ 11.8	▲ 22.2
その他製造業	▲ 3.4	▲ 9.7

在庫状況
(製造業)

「過剰」感がやや強まる

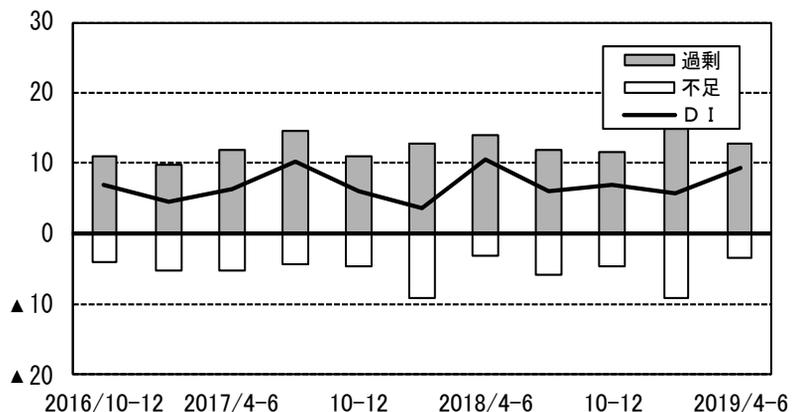
2019年4-6月期の在庫状況DI（製造業）は、「過剰」とする企業の割合が減少したものの、「不足」とする企業の割合がそれ以上に減少したため、「過剰」感が強まる結果となった（5.7→9.3）。

業種別にみると、一般機械器具（▲12.5→11.8）が「過剰」超に転じ、食料品（0.0→7.1）も「過剰」感が強まっている。一方、金属製品（14.3→7.7）、パルプ・紙・紙加工品（14.3→9.1）、その他製造業（10.7→9.7）では「過剰」感が弱まっている。

《在庫状況》

		(前期) 2019年 4-6月期	(今期) 2019年 7-9月期
回答割合	過剰	14.9%	12.8%
	適正	75.9%	83.7%
	不足	9.2%	3.5%
D I		5.7	9.3

%/DI 《在庫状況DI推移》



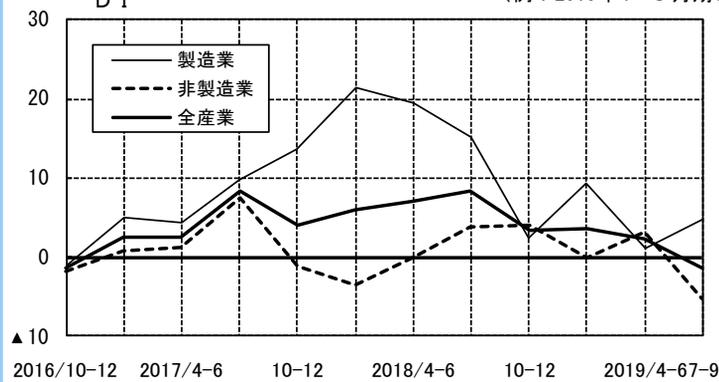
設備資金借入
動向(来期)

製造業は「借入増加」超拡大、非製造業は「借入減少」超に転じる見通し

2019年7-9月期(来期)の設備資金借入動向DI(全産業)は、前期に続いて低下し、2016年10-12月期以来11期ぶりに「借入減少」超に転じる見通しである(2.3→▲1.4)。ただし業種別にみると、非製造業(3.1→▲5.2)は、「借入減少」超に転じるが、製造業(1.1→4.7)は、「借入増加」超拡大の見通しである。

《設備資金借入動向DI推移(見通し)》※すべて「来期の見通し」について調査

(例：2019年7-9月期の見通しは、2019年4-6月期時点の調査結果による)



設備資金借入動向DI	前期	今期
製造業計	1.1	4.7
食料品	▲12.5	▲21.4
パルプ・紙・紙加工品	▲7.1	18.2
金属製品	7.7	8.3
一般機械器具	12.5	16.7
その他製造業	3.4	3.3
非製造業計	3.1	▲5.2
卸・小売・サービス	3.3	▲5.0
旅館・その他宿泊所	8.3	▲7.7
その他卸・小売・サービス	2.5	▲4.6
建設	2.6	▲5.7

経営上の問題点

「受注・売上の停滞・減少」が最もウエイトの高い問題点に

表に掲げた、経営上の問題点を3つ選択する方式では、「人材の育成」が「受注・売上の停滞・減少」を上回り、最多となった。ただし、3つのなかで最もウエイトの高い問題点としては、製造業、非製造業ともに「受注・売上の停滞・減少」が最多(非製造業では「人件費の増加」が同率で並ぶ)で、「人材の育成」は4番目の問題点となっている。

《経営上の問題点(上位8項目)》

(複数回答可)

順位	問題点	2018年 10-12月期		2019年 1-3月期		2019年 4-6月期		順位 変動
		企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1	人材の育成	92	40.2%	85	38.1%	93	43.1%	↑
2	受注・売上の停滞・減少	93	40.6%	89	39.9%	89	41.2%	↓
3	求人難	86	37.6%	81	36.3%	88	40.7%	→
4	従業員の高齢化	69	30.1%	81	36.3%	77	35.6%	↓
5	人件費の増加	60	26.2%	72	32.3%	55	25.5%	→
6	原材料・資材・仕入商品の値上がり	64	27.9%	66	29.6%	51	23.6%	→
7	生産・販売能力の不足	58	25.3%	36	16.1%	43	19.9%	↑
8	過当競争・製品安	49	21.4%	45	20.2%	38	17.6%	↓

(回答企業数：229社) (回答企業数：223社) (回答企業数：216社)

《業種別回答企業数およびDI》

※借入動向(設備資金)は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	回答 企業数	DI						
		業況判断	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	借入動向
全産業計	224	▲6.3	▲3.1	▲13.9	-	-	-	▲1.4
製造業計	87	▲2.3	2.3	▲17.2	▲9.2	▲12.6	9.3	4.7
食料品	14	14.3	14.3	▲28.6	▲14.3	▲7.1	7.1	▲21.4
パルプ・紙・紙加工品	11	18.2	18.2	▲27.3	▲18.2	▲18.2	9.1	18.2
金属製品	13	0.0	0.0	▲23.1	▲7.7	▲7.7	7.7	8.3
一般機械器具	18	▲22.2	▲11.1	▲27.8	▲11.1	▲22.2	11.8	16.7
その他製造業	31	▲6.5	0.0	0.0	▲3.2	▲9.7	9.7	3.3
非製造業計	137	▲8.8	▲6.6	▲11.8	-	-	-	▲5.2
卸・小売・サービス	102	▲10.8	▲4.9	▲10.9	-	-	-	▲5.0
旅館・その他宿泊所	13	▲23.1	▲15.4	▲30.8	-	-	-	▲7.7
その他卸・小売・サービス	89	▲9.0	▲3.4	▲8.0	-	-	-	▲4.6
建設	35	▲2.9	▲11.4	▲14.3	-	-	-	▲5.7